

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年5月17日発行

－ 2018.5.7～ 2018.5.13 － 第19週－

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第16週	第17週	第18週	第19週	
水痘	1 0.20	7 0.70	4 0.80	1 0.50		1 0.20	1 0.50	19 0.70	34 0.58	440		○	レ	○	
流行性耳下腺炎		2 0.20			1 0.33			2 0.07	5 0.08	60					
感染性胃腸炎	33 6.60	50 5.00	21 4.20	24 12.00	27 9.00	24 4.80	1 0.50	184 6.81	364 6.17	4,576	◎	◎	◎	◎	
手足口病						1 0.20	2 1.00	2 0.07	5 0.08	191					
伝染性紅斑		2 0.20	1 0.20	3 1.50				4 0.15	10 0.17	77					
突発性発しん	2 0.40	8 0.80	4 0.80	1 0.50	2 0.67			23 0.85	40 0.68	476	○	○	○	○	
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	15					
インフルエンザ	5 0.63	4 0.27	8 1.00		1 0.20	7 0.88	6 1.50	19 0.43	50 0.53	33,871	◎	◎	◎	◎	
咽頭結膜熱	1 0.20	2 0.20					2 0.40	1 0.50	16 0.59	22					
流行性角結膜炎		3 1.00	1 1.00				3 3.00		7 0.58	58					
急性出血性結膜炎									0 0.00	5					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26 5.20	29 2.90	6 1.20	5 2.50	3 1.00	54 10.80	1 0.50	109 4.04	233 3.95	3,458	◎	◎	◎	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0					
無菌性髄膜炎									0 0.00	0					
マイコプラズマ肺炎				3 3.00			1 1.00		4 0.33	64					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1					
RSウイルス感染症	4 0.80						2 0.40	3 1.50	18 0.67	27 0.46	563	○	○	レ	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								4 0.80	4 0.33	22					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2	1										
	川崎病								1						
	不明発しん症	1							7						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名、女性1名
仙台管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 女性5名、男児2名*、女児1名*

3類感染症: 報告なし

4類感染症: E型肝炎

栗原管内 男性1名
レジオネラ症
大崎管内 男性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙南管内 男性1名
水痘(入院例)
大崎管内 女性1名(第18週)
百日咳
仙台管内 女児1名*
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名(第18週)

*男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
石巻管内 第17週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 1件
塩釜管内 第18週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 1件
第19週採取分 インフルエンザウイルスB型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中 間 報 告		
	確 定	第17週採取分	第18週採取分
	第16週採取分	(4.23～4.29)	(4.30～5.6)
インフルエンザウイルスA(H3)型	1件	0件	0件
RSウイルス	1件	1件	2件
ヒメタニューモウイルス	1件	1件	3件
アデノウイルス	2件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	0件	1件

4. 今週のコメント

【百日咳】

百日咳は、けいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症です。平成30年1月1日より五類感染症の全数把握疾患となりました。今週、仙台管内で患者報告があり、今年の患者報告は5人となっています。患者の咳に含まれる飛沫との接触でうつり、感染力が強いとされます。乳児では無呼吸、呼吸困難などを引き起こして重症化しやすく、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効とされており、現在は、百日咳ワクチンを含むDPT三種混合あるいはDPT-IPV四種混合ワクチン接種が実施されています。家族等から乳児への感染例も報告されていますので、患者発生があった管内では十分注意が必要です。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南管内で警報レベルを継続中です。
石巻管内で警報レベルを超えました。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

